

# 県立病院跡地民間活力導入可能性調査等業務委託プロポーザル評価基準

(令和4年4月8日決裁)

## 1 位置づけ

この要領は、県立病院跡地民間活力導入可能性調査等業務委託選考委員会が県立病院跡地民間活力導入可能性調査等業務の受託候補者を選定するための評価の基準等を示すものである。

## 2 評価方法及び受託候補者の選定

受託候補者の選定は、企画提案書やヒアリングの内容を踏まえ、別表「評価基準表」に基づく選考委員会の各委員の採点により、次の選定順に従い順次選定する。ただし、採点した委員の平均得点が60点に満たない場合は、不適格とみなして受託候補者としな

- いものとする。
- <選定順>
- ア 過半数を超える委員から最高順位を得た者
  - イ アにより決しない場合、全委員の合計得点が最高得点者
  - ウ 最高得点者が複数ある場合は、企画提案に係る項目の評価点が最も高い者
  - エ ウが複数ある場合は、提案金額の最も安価な者

## 3 評価点

採点に当たっては、「評価基準表」に定める各項目の着眼点を踏まえ、次表に定める5段階の評価を行い、それぞれの区分に応じた評価点を算出するものとする。

評価段階	配点10点の場合	配点20点の場合	配点30点の場合
極めて優れている	10	20	30
優れている	8	16	24
普通（標準的）	6	12	18
やや劣っている	4	8	12
劣っている	2	4	6

## 4 留意点

評価は、プレゼンテーションにおける説明技術によらず、提案内容等の優劣をもって評価するものとする。

## 別表

## 評価基準表

大項目	小項目	評価の着眼点	配点
①実施方針	①理解度、考え方、取組意欲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の目的、条件、内容の理解度が高いか。</li> <li>・主体的かつ前向きな取組意欲が認められるか。</li> </ul>	10
②業務遂行能力	①実施体制・実績、配置予定者、工程計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業として業務を円滑に遂行できる実施体制が構築されるとともに、業務を適切に遂行できる類似業務の実績を有しているか。</li> <li>・配置予定者が業務を確実に遂行するに足る類似業務の実績、経験等を有しているか。</li> <li>・業務実施手順を示す実施のフロー、スケジュールに妥当性が認められるか。</li> </ul>	30
③企画提案内容	①事業スキームの検討及び最適な事業手法の選定	・想定する事業スキームを比較検討し、当該跡地における施設の整備等の最適な手法の検討過程が適切に示されているか。	20
	②市場調査	・民間事業者の本事業への参画意欲、参画条件、事業費削減の可能性、事業に対する要望、整備・運営手法に関するアイデア等についての調査過程が適切に示されているか。	20
	③収益施設等の導入可能性の調査	・整備する施設と親和性があり、当該跡地の魅力創出につながる、収益事業の導入可能性の検討過程が適切に示されているか。	20
合計			100